

がいようばん
概要版

とうきょうとたぶんかきょうせいしんしん
東京都多文化共生推進指針

かいていばん
改定版

Tokyo Guidelines for the Promotion
of Intercultural Cohesion

2025年6月



とうきょうとたぶんかきょうせいすいしんししん かいてい 東京都多文化共生推進指針の改定について

とうきょうとたぶんかきょうせいすいしんししん

■ 東京都多文化共生推進指針とは

- ✓ にほんじん がいこくじん あんしん く かつやく しゃかい じつげん きほんてき
日本人も外国人も安心して暮らし活躍できる社会の実現のための基本的な
ほうこうせい さだ
方向性を定めたものです。
- ✓ ねん がつ さくてい
2016年3月に策定しました。

かいてい はいけい

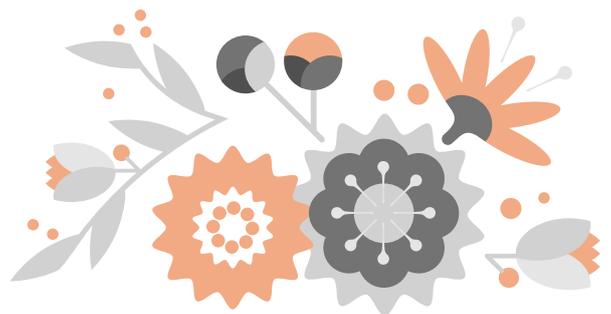
■ 改定の背景

- ✓ とうきょう く がいこくじん ふ
東京に暮らす外国人はさらに増えました。
- ✓ たぶん かきょうせい にな かくしゅたい やくわり か
多文化共生を担う各主体の役割が変わってきました。

かいてい

■ 改定のポイント

- ねん めざ とうきょう たぶん かきょうせいしゃかい じつげん
2050年に目指す東京の多文化共生社会を実現するため、
- ✓ かくしゅたい やくわり めいかくか
各主体の役割を明確化しました。
 - ✓ しさく もくひょう てんかいいい こうしん
施策の目標と展開例を更新しました。

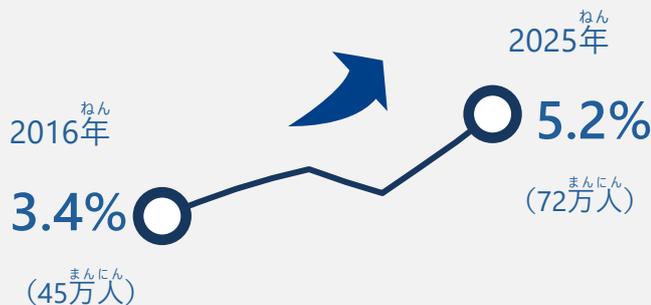


いま とうきょう
■ 今の東京

- ✓ とうきょう がいこくじんじんこう ねん か こさいた
東京の外国人人口は、2025年に過去最多になりました。
- ✓ さまざま ぶんか けいざいてきはいけい も がいこくじん さまざま ちいき く
様々な文化や経済的背景を持った外国人が、様々な地域で暮らしています。

とないじんこう し
都内人口に占める

がいこくじん かず わりあい ふ
外国人の数・割合が増えています



こくせき たようか
国籍が多様化しています

187 の国・地域

がいこくじん きょじゅう
の外国人が居住

わか ひと おお
若い人が多いです

だい
20代

だい
30代 が 50% 超

ひと りゅうがくせい
スキルのある人や留学生が

おお
多いです

ぜんこく せんもんてき ぎじゅつてきぶん や りゅうがくせい
全国の専門的・技術的分野、留学生の

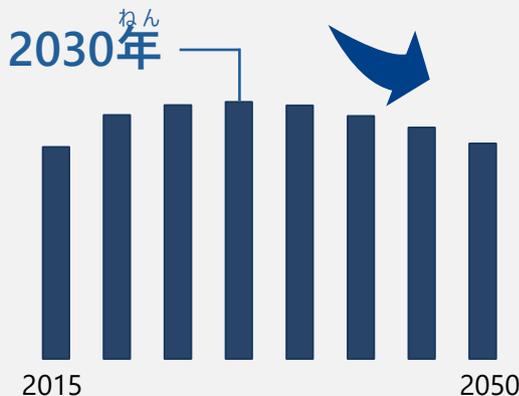
わり
約 3 割 が都内在住

ねん よそく

2050年の予測

- ✓ 人口の構成が変わります。
- ✓ 私たちを取り巻く社会の状況も変化していきます。

ねん 2030年をピークに人口が減ります

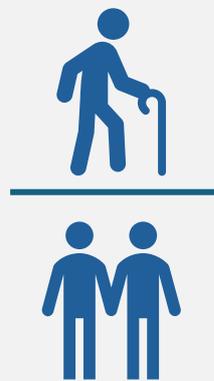


こうれいか すす 高齢化が進みます

やくふたり ひとり 約2人で1人の

こうれいしゃ ささ 高齢者を支える

しゃかい 社会に



がいこくじんじんこう ぶ にほんじん がいこくじん 外国人人口が増え、日本人と外国人の

きょうせいしゃかいじつげん もと 共生社会実現が求められます



とう たげん ごほんやくぎじゅつ こうじょうし AI等による多言語翻訳技術が向上し、

ことば まな いみ か 言葉を学ぶ意味が変わります



ちいきぼうさい じゅうようせい たか ちいき 地域防災の重要性が高まり、地域コミ

かっせいか もと ユニティの活性化が求められます



■ 2050年の多文化共生社会の将来像

- ✓ 2050年の東京の目指すべき社会と避けるべき社会の将来像について、
有識者から意見をもらいました。

こうなっていてほしい

めざすべき社会

がいくじんじしん しゃかい こうけん かん かつやく
・外国人自身が社会に貢献していると感じ、活躍できる

しゃかい
社会

がいくじん ちいきしゃかい いちいん く にほんじんじゅうみん
・外国人が地域社会の一員として暮らし、日本人住民と

ゆた あたら ちいき とも つく あ しゃかい
豊かな新しい地域を共に作り上げられる社会

にほんじん がいくじん ことば かべ いしき こうりゅう
・日本人・外国人が言葉の壁を意識せずに交流できる

しゃかい
社会

だれ たようせい かち かん たよう ひとびと きょうせい
・誰もが多様性を価値と感じ、多様な人々と共生すること

にほん かだいかいけつ しゃかい
が日本の課題解決につながる社会

なに
何もしなければ

こうなってしまう

さ
避けるべき社会

にほんじん がいくじん と じんざい こくがい りゅうしゅつ とうきょう
・日本人・外国人を問わず人材が国外に流出し、東京の

こくさいてきち い ていか しゃかい
国際的地位が低下した社会

しゃかい こりつ かぞく こども ふ しゃかい
・社会から孤立した家族や子供たちが増えている社会

さべつ へんけんいしき じょちょう かくだい しゃかい
・差別・偏見意識が助長・拡大される社会

ちいき がいくじん ふ にほんじん まさつ
・地域になじもうとしない外国人が増え、日本人との摩擦

ぞうか ちあん あっか しゃかいふあん ちいきぶんだん おちい
の増加や治安の悪化といった社会不安や地域分断に陥

しゃかい
る社会

基本目標と施策目標

- ✓ 2050年の目指すべき社会を実現するために、基本目標と3つの施策目標を定め、取組を進めていきます。

基本目標

多様性を都市づくりに活かし、全ての都民が
東京の発展に向けて参加・活躍でき、安心して
暮らせる社会の実現

施策目標

1 全ての外国人が活躍できる社会の仕組みづくり

2 全ての外国人が安心して暮らすことができ、

また生活をより楽しむために必要なサポートの充実

3 互いの個性を認め合い、多様性を尊重しながら

支え合える意識の醸成

- ✓ 外国人が持つ能力を最大限発揮し、活躍できる環境を整備します。
- ✓ 住民の一人として外国人が地域社会へ参加することを促進します。

てんかいいい 展開例

● 地域日本語教育の推進

日常生活を送るために必要な日本語教育を学ぶ機会を提供し、地域社会とのつながりづくりを支援します。

● 日本語を母語としない子供の支援

多様な背景や環境の中で育っている子供たちが自分らしくいきいきと活躍できるよう、地域や学校での取り組みを支援します。

● 外国企業や人材の受入

東京に進出したい企業や人材へビジネスのサポートや、家族を含めた生活面のサポートを行います。

● 留学生を含む外国人材の活躍支援

日本の就職情報の提供など日本で就職を希望する留学生等を支援します。

外国人を採用したい企業の相談を受け付け、外国人材が活躍できる受入れ体制を整備します。

● あらゆる場面における外国人当事者の社会参画・活躍促進

外国人が住民の一人として地域活動に参加できる環境づくりに取り組みます。

すべ がいこくじん あんしん く
全ての外国人が安心して暮らすことができ、

せいかつ たの ひつよう じゅうじつ
また生活をより楽しむために必要なサポートの充実

- ✓ きょういく いりよう ぼうさい あんしん せいかつ じょうほう ていきょう
教育・医療・防災など、安心して生活できるような情報を提供します。
- ✓ かんこう げいじゅつ ぶんか とうきょう く たの じょうほう ていきょう
観光・芸術文化・スポーツなど、東京での暮らしを楽しむための情報を提供します。

てんかいいい 展開例

● せいかつめん じょうほうていきょう 生活面での情報提供

せいかつ ひつよう じょうほう いりよう じょうほう かんたん にゅうしゅ いちげんてき じょうほうはっしん すす
生活に必要な情報や医療の情報がいつでも簡単に入手できるよう、一元的な情報発信を進めます。

とうきょう せいかつ たの じょうほう せっきょくてき はっしん
レジャーやカルチャーなど東京の生活を楽しむための情報も積極的に発信します。

● ぼうさいいしき ふきゅうけいはつ 防災意識の普及啓発

へいじょうじ がいこくじん ぼうさいちしき ふきゅうけいはつ ちいき すす
平常時から、外国人への防災知識の普及啓発や地域でのつながりづくりを進めます。

はっさいじ がいこくじん さいがいじょうほう ようい にゅうしゅ たいせい かくほ
発災時に外国人が災害情報を容易に入手できる体制を確保します。

● そうだんたいせい せいび 相談体制の整備

なや かが がいこくじん そうだんまどくち そうだんたいせい せいび
悩みを抱えた外国人がいつでも相談窓口につながれるような相談体制を整備します。

● たよう ちいき れんけい 多様な地域リソースとの連携

がいこくじん せいかつ なか しょう さまざま かだい たい かんけいきかん れんけい はか
外国人の生活の中で生じる様々な課題に対し、関係機関と連携を図りながらサポートしていきます。

- ✓ すべ ひと たが ぶんか そんちよう いしき も
全ての人が互いの文化を尊重する意識を持てるようにします。
- ✓ がいこくじん にほん しゅうかん りかい
外国人が日本のルールや習慣を理解できるようにします。
- ✓ にほんじん がいこくじん とも ささ あ いしき じょうせい
日本人と外国人とが共に支え合う意識を醸成します。

てんかいいい 展開例

● きょうせいいしき いぶんかりかい 共生意識・異文化理解

たよう かつかん う い きょうせい いしき じょうせい ふきゅうけいはつ おこな
多様な価値観を受け入れ、共生していく意識を醸成するための普及啓発を行います。

せかい かつやく じんざい いくせい きょういく じゅうじつ
世界で活躍できる人材の育成のため、グローバル教育を充実させます。

● にほんご ふきゅうけいはつ やさしい日本語の普及啓発

とみんひとり ちいき にほんご つか がいこくじんじゅうみん あいさつ にちじょうかいわ ふきゅうけいはつ
都民一人ひとりが地域でやさしい日本語を使って外国人住民と挨拶や日常会話ができるよう普及啓発を
おこな
行います。

● ちいき がいこくじんじゅうみん きょうせい 地域コミュニティにおける外国人住民との共生

いぶんか せだいかん こうりゅう ば ふ にほんじん がいこくじん とも ささ あ いしき じょうせい おこな
異文化・世代間の交流の場を増やし、日本人と外国人が共に支え合う意識の醸成を行います。



かくしゅたい やくわり 各主体の役割

■ くに とうきょうと とうきょうと そうせいざいだん く しちやうそん こくさいこうりゅう 国、東京都、東京都つながり創生財団、区市町村、国際交流 きやうかい がいこくじんし えん だんたい 協会、外国人支援団体

✓ それぞれのやくわりをふまえて、そうごにれんけいすることがひつようふかけつ
必要不可欠です。

くに 国

たぶん かきやうせいし さくすいしん かん ほうせい
多文化共生施策推進に関する法整

び 基本 的な体制を整備します

く しちやうそん 区市町村

ちいき すいしん
・地域づくりを推進します

ちいき たやう しゅたい れんけい きやうどう
・地域の多様な主体と連携・協働し
ます

とうきょうと 東京都

とない きほんてきほうしん ていじ
・都内の基本の方針を提示します

かくしゅたい れんけい きやうどう
・各主体との連携・協働により

こういきてき かだい と く
広域的な課題へ取り組みます

こくさいこうりゅうきやうかい 国際交流協会

ちいき にな て ちいき
地域の担い手をコーディネートし、地域

たぶん かきやうせい げんば にな
の多文化共生の現場を担います

とうきょうと そうせいざいだん 東京都つながり創生財団

がいこくじん しえん だんたいかん
・外国人を支援する団体間のネットワ

けいせい きやうどう すいしん
ーク形成・協働を推進します

だんたい じぎやう
・団体の事業をバックアップします

とうがいこくじんし えん だんたい NPO等外国人支援団体

しゃかいじやうせい おう じゅうなん きどうてき
社会情勢に応じた柔軟かつ、機動的

かつどう てんかい
な活動を展開します

かくしゅたい やくわり 各主体の役割

■ とみん きぎょう きょういくきかん 都民や企業、教育機関など

✓ ぜんいんさんか たぶんかきょうせいしゃかいじつげん きたい
全員参加による多文化共生社会実現のため、こんなことが期待されています。

とみん 都民

たぶんかきょうせいしゃかい とも つく とうじしゃ いしき も
多文化共生社会を共に創る当事者としての意識を持ちます

ちょうかい じちか いたう ちいき 町会・自治会等の地域コミュニティ

がいこくじんじゅうみん にほんじんじゅうみん かお み
外国人住民と日本人住民の「顔の
見える」関係をつくります

きぎょう 企業

りゅうがくせい ていじゅうがいこくじん さいよう いくせい
・留学生や定住外国人を採用・育成
します
たようせい そんちよう しょくばかんきょう せいび
・多様性を尊重した職場環境を整備
します

だいがくとう きょういくけんきゅうきかん 大学等の教育研究機関

にほん せかい かつやく じんざい いくせい
・日本や世界で活躍できる人材を育成
します
がくせい ちいきしゃかい さんかく すす
・学生の地域社会への参画を進めます
たぶんかきょうせい かか ちょうさ けんきゅうとう
・多文化共生に関わる調査・研究等の
せいか しゃかい かんげん
成果を社会に還元します

がっこう しょう ちゅう こうとうがっこう 学校（小・中・高等学校）

がいこくじんじどう せいと のうりよく のばす
・外国人児童・生徒の能力を伸ばす
きかい かくほ
機会を確保します
いぶんかりかい たぶんかきょうせい かんが
・異文化理解・多文化共生の考えに
もと きょういく すいしん
基づく教育を推進します